



9月決算議会は目前です

まめバス対応困難地区の交通対策は 南伊勢町のデマンドバスと予約システムに学ぶ

野田市ではまめバスの運行見直しを来年度に控えている。その課題の一つにまめバス運行に不向きな公共交通不便地域をどうするかということがある。

その一つの成功例が三重県南伊勢町にあった。新社会党の杉森弘之・牛久市議会議員が視察した「デマンドバス」だ。

過疎と高齢化進む中

南伊勢町は2005年に南勢町と南島町が合併し誕生した人口約1.3万人の町。熊野灘に面してリアス式海岸を抱え、漁業と農業が主要産業で、鉄道はなく町域は約240km²と広大。

合併後も高齢化は止まらず、2010年には42%に達した。自家用車へのシフトもあり、町内の路線バスは2006年の156,345人をピークに、2010年には58,670人にバス利用者が激減した。



7月から運用が始まった車椅子対応型

そのため町営バスの運行も以前からあったが、交通空白地、交通空白時間帯、道路幅の狭いところなど問題を抱えており、町営バスに加え、新たな運行方式が必要との判断に至っている。

その結果、15年度からデマンドバスを運行。ワゴン車4台（利用者9人乗り3台、6人乗り1台）が年中無休で、9時から17時の時間帯で運行されている。

運賃は地区内200円（16歳未満は半額、6歳未満の幼児、生活保護受給者、障害者手帳保持者、要介護・要支援者は免除）、地区を越えるごとに100円追加される。町内は4地区に分かれている。

自宅に近い乗降所から利用

デマンドバスは個人宅からではなく、190カ所の乗降所から利用する。予約方法は利用日の7日前から当日まで可能で、電話で予約センターに利用したい日時、乗降場所、利用人数を伝えるだけ。現在、一日の平均利用人数は約70人。主に病院や買い物を目的とした高齢者の利用が多いと

表1 9月議会日程（予定）

期日	開議予定時刻	会議予定	主な会議内容
8月24日（金）		9月議会招集告示	
27日（月）	10時	議会運営委員会	
31日（金）	10時	本会議（開会）	会期の決定、議案上程、市政一般報告
9月7日（金）	10時	本会議	議案質疑、委員会付託
10日（月）	10時	本会議	一般質問
11日（火）			
12日（水）			
13日（木）	未定	常任委員会	議案等の審査
14日（金）			
18日（火）	未定	決算審査特別委員会	平成29年度各会計決算の審査
19日（水）			
20日（木）			
26日（水）	10時	本会議（閉会）	委員長報告、質疑、討論、採決

いう。この7月からは車いす対応のバスが1台運行されている（写真。伊勢新聞から）。

委託を受けている大新東株式会社は、デマンドバス運行は初の取り組みだが、予約や運行ルートは（株）AVプランニングのコンピュータシステムで行う。これは事前登録が不要で電話番号のみで受付・配車とルート選択が可能という。

訂正) 前号ポスター印刷費の記事中、2014年の柏市議選とあるのは2015年の間違いでした。訂正します。



戦意高揚行為を恥じ反戦に生涯を捧げたむのたけじ 反軍演説の斉藤隆夫と憲法を紹介

8月20日投稿

むのたけじ（武野武治）さんが2016年に101歳で亡くなり、命日は明日21日。

戦前戦中と新聞記者として戦争を美化しあつたことを反省。敗戦の当日、朝日新聞社を退社し、48年に故郷の秋田県に戻り、横手市で週刊新聞「たいまつ」を創刊。反戦活動を続けた。私がむのさんを見たのは2016年5月3日、東京有明で開かれた憲法集会。車いすながら101歳とは思えない渾身のあいさつだった。以下でその動画が見られる。

<http://www.asyura2.com/16/>

senkyo205/msg/492.html

その彼が支配者が戦争をやるうとしてやれない市民の力をと訴え続けた集約的な著作、『戦争いらぬやれぬ世へ』で、太平洋戦争の前年、国会で反軍演説をして国会を除名になった斉藤隆夫衆議院議員に触れている。

その斉藤は2年後、大政翼賛会の推薦がなければ当選できない中で兵庫5区からトップ当選。そして戦後吉田茂内閣の国務大臣として憲法公布に名を連ねている。だ

日本も関わった不戦条約は平和憲法の原型

8月19日投稿

パリ不戦条約。第1次世界大戦後にできた人類初の世界平和維持機構である国際連盟が、1928年(昭和3年)7月に作った「戦争放棄(ほうき)に関する条約」です。

第1条は戦争放棄の宣言、第2条は紛争の平和的解決義務。この時日本は国際連盟の常任理事国。

から憲法9条は二度の世界大戦を経験した世界と、もちろん日本も二度と戦争を起こさない仕組みを作ろうと共同した戦後の歩むべき道と、むのたけじは論じている。

写真はオクラの花と実、そして天空のかぼちゃ、もう一枚はマンシヨンのベランダ越しに広がるペチュニア。このペチュニアは会議が終わって帰り際に見たら、手すりの所まで切り詰められてこの姿はもうなかった。

当然それに賛成し批准しています。

日本の憲法前文と9条はまさにこの流れの中ででき、かつ最先端を行くものです。それを見ずに形式的に押し付け憲法ともっともらしい批判はためにする議論です。

しかし、ネトウヨではありませんが、歴史を一方向的に解釈する勢力は、不都合な事実には目と耳をふさぎ、政治と論壇を支配し、敵国を作り上げて世論形成を図っています。

先の常任理事国を務めていた日本は当時満州を侵略して傀儡政権を作ったため、国際連盟は満州における中国の主権を支持する報告書を日本だけの反対で採択しました。そして日本は国際連盟を脱退し、泥沼の戦争の時代を歩みます。

昨日、今日は野田市内で平和のつどいが多くの団体の協力で開かれています。不都合な事実を学ぶ勇氣こそ平和を維持する力です。

写真はつるなしいんげんの花と実、そしてゴマの花です。

写真は紙面の関係で紹介できないのでfacebookでご覧下さい。



19日に議員会館前で開かれた「安倍9条改憲NO! 沖縄・辺野古新基地建設反対! 安倍政権退陣! 8.19国会議員会館前行動」には2700人が集まり、翁長さんの遺志を引き継ぐ、9条改憲絶対反対と声を合わせた。